— 認定 NPO 法人　コミュニティ・サポートセンター神戸　—

市民フロンティア

「自立と共生」を理念とした地域社会をめざし、自ら活動する人々を応援します

2020 年 1 月 25 日発行 **通巻 88 号**

2020 新年に寄せて

理事長　中村順子

新しい年が明けました。今年は、阪神淡路大震災から 25 年の節目となり格別な思いをもって迎えました。CS 神戸では、この機に、過去への感謝と未来への挑戦を行動に移す一大決意をし、「地域共生拠点・あすパーク」を都市公園内（灘区大和公園）に設置し、1 月からプレオープンする運びとなりました。この新たな拠点の設置を公園にこだわった理由こそ、大震災に由来しています。家族、住居、しごとを失くした人々が、公園に仮設された住宅や集会所を拠り所に、知らないもの同士が助け合い、つながりあって生活を立て直してきました。CS 神戸の出自もまた支援の基地を公園に張り、初めて出会う地元や全国のボランティア達と被災者を支援した経過があります。

ボランティア元年と銘打たれてから 25 年、NPO 法人や一般社団法人は兵庫県内に 4500 を超え、市民が主体的に社会にかかわりながら共に生きていくことが身近になってきました。しかし一方では、ボランタリーな助け合いが生活文化となっている地域社会の実現には、距離感を否めません。もっとつながらなければ、という思いをますます強くしています。

改めて現在の社会におけるボランティア活動を考える時、『**自らすすんで、未知なる他者を、受け容れる行為**』ではないかと解釈できます。未知なる他者は、つながる喜びを共有できると同時に、時には痛手ともなり得ます。それでもつながりを見限らない態度こそボランティア精神の真骨頂ではないかと思います。決して楽しさばかりを追求することでもなく、深い喜びで共感しあえる関係性にボランティアの価値を見出したいものです。

「地域共生拠点・あすパーク」は、小さな拠点ではありながら、未知の協働を積極的に取り入れ、新しい関係を結び課題解決を試みる場として活躍したいと願っています。

まだ出会っていない大勢の方々とつながり、一回りも二回りも輪を広め、皆様方とご一緒に、助け合いが生活文化となるよう励んでまいりたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

あすパーク プレオープンの様子

地域共生拠点・あすパーク いよいよ始動！

～ 過去への感謝と未来への挑戦 ～

地域共生拠点 あすパーク

表紙を飾っている、「地域共生拠点・あすパーク」が神戸市灘区にある大和公園内に設置、1 月から始動しています。今後、3 ヶ月間の準備期間を経て 2020 年 4 月にグランドオープンの運びとなります。地域の方や NPO、企業など様々な方々にご利用いただくだけでなく、CS 神戸が発案した企業協賛方式の地域食堂などいくつかのリーディングチャレンジも準備しています。この先も、様々な方々と調査研究し、地域に役立つ活動を創出していきたいと考えています。ご関心のある方と協働でチャレンジさせていただければ嬉しいことです。ぜひ皆さまのご連絡をお待ちしています。

あすパークが出来るまで

緑一面の場所が

整備されて・・・

完成が楽しみ♪

素敵な建物が出来ました

利用概要 ※詳細は現地スタッフにお問合せください

【開館曜日】～3 月末まで 水・金・土曜 ／ 4 月以降 火～土曜

【開館時間】9：30～17：00

■オープンスペース

（収容人数：机あり 20 人・机なしも可）

＜利用料金＞

午前（9:30~12:00） 2,000 円/回

午後（14:00~16:30）2,000 円/回

オープンスペース

■キッチンスペース（2 月以降供用開始予定）

＜利用料金＞ 2,000 円/回

■トライアル BOX

ハンドメイド製品や障がい者の手作り品を試験販売できます。

＜利用料金＞ 1 区画 1,000 円/月（別途販売手数料：売上の 10%）

■ギャラリーコーナー

ピクチャーレールで壁面に絵画や写真などを展示するアートギャラリーです。

＜利用料金＞ 1,000 円/週（期間：1 週間～3 週間）

※他にもパートナー登録によるオフィス利用もできます。

『チャレンジ事業』に参画しませんか？

あすパークでは下記のようなグループを育てていく「チャレンジ事業」を企業協賛のもと、計画中です。ご関心のある方はお問い合わせください！

① **あすパーク健康食堂チャレンジ**
企業より余剰食材を提供いただき多世代交流できる地域食堂を開きます

② **訪問助け合いチャレンジ**
制度外の日常生活支援サービスを行うグループを立ち上げます。

③ **フードロス飛脚チャレンジ**
食品ロスを抱える企業と子ども食堂などを流通面でサポートします。

最新の情報は FB(https://www.facebook.com/aspark.cskobe/)でご覧ください。

プレオープニングイベントを開催しました！

大和公園の歴史を紹介

1 月 11 日（土）にプレオープニングイベントを開催、子ども含めて 150 人以上の方々にお越しいただきました。中村理事長より、あすパーク建設に至った経緯や想いをお話した後、成徳ふれあいのまちづくり協議会の堂内委員長から、大和公園の歴史をご紹介いただきました。第二次世界大戦で焼け野原になった後、住民の方々が減歩率 25%で土地を出し合ってできた公園であるということ、阪神・淡路大震災では 1,400 戸の仮設住宅が建ち、復興の拠点となったということ。75 年の歴史を振り返り、多くの方の想いが積み重ねられた公園であることを改めて認識しました。

予約図書受取コーナー＆「まちスポらぼ」開設！

～「本」から始まる新しいつながり ～

予約図書受取コーナー

わからないことがあれば、お気軽にスタッフにお声がけください

神戸市より受託した予約図書受取コーナーが８月１６日にオープン。通常、市民図書室や公共施設に設置される予約図書受取コーナーを NPO が請け負うことで神戸市として商業施設に設置する初めての試みとなりました。また、運営を有償ボランティアで担っていることも特徴の一つで、公共サービスを地域住民と一緒に作っていくモデルになれば！と思います。現在神戸市の受取コーナーで２番目に多い利用数となり「近くにできて嬉しい」という声をいただけることは何よりの励みになります。

併設して同時に開設した CS 神戸が自主運営する「まちスポらぼ」は予約図書受取コーナーに併設する地域の文化交流スペースです。本を媒介に地域で活動する人を増やしたり、繋げたりする小さなプラットフォームとして今後展開していく予定です。（大和）

●予約図書受取コーナー開室時間●
火・木・金　10 時～15 時
土・日　12 時～17 時
お盆、年末年始は除く。祝日も開室。
市立図書館で借りた本の返却や K-lib ネットで申し込みをされた図書の受取ができます。
※K-lib ネットは市立図書館での申請が必要です。

まちスポらぼ

まちスポスタッフと近隣大学の学生サークルが企画会議中。
まちスポらぼでは、子どもも大人も本やアートに気軽に触れて楽しめるイベントなどを企画しています！ぜひお立ち寄りください♪

神戸市コミュニティ相談センター

～ 自治会と NPO の連携で住みやすいまちづくりを ～

神戸市からの委託事業として神戸市自治会連絡協議会（神戸市自治連）と CS 神戸が連携し運営し始めました。ノスタルジックな趣のある建物「ふたば学舎」（旧・二葉小学校）の１階にあります。

センター前の廊下

最初の半年間は、とにかく既存の事務局業務をこなすことで精いっぱいでしたが、神戸市自治連の役員や神戸市市民協働課、 ボランティアスタッフの方々に支えられて事業を進めることができました。

日々相談を受ける中で気づいたのは、「誰にも相談できず、困っている人」が多いことです。自治会に関する相談は「日々のこと」「生活に密着すること」であり、ゴミ・騒音・外灯・駐車違反・防犯・防災・・・など多岐に渡ります。また、地域によっても背景が異なります。行政では手が届かないこともあり、これらを自治会だけで担うのは、大変です。

そこで、自治会だけで解決できない課題については、専門性を持つ NPO など外部団体と連携することで前進できるのではないかと考えています。今後、自治会など「面」をカバーしている地縁団体と NPO など専門性を持つ団体とのマッチングを目指し、まずは交流会や情報交換会を重ねていく予定です。

ボランティアスタッフの
桐山さん（左）と今井さん（右）

大黒ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ

長井ｾﾝﾀｰ長

5/11 開催お披露目会での交流の様子

時々はセンターの外にも足を運び、多様なつながりをつくっていきたいと思っています。

ダイジェストニュース

～ 動きのあるプロジェクトをピックアップしてご紹介！ ～

【市民活動支援部】

カレンダー寄贈先（本山第一住宅）

●ギフト・オン・ハート～カレンダープロジェクト 2020・・・ 年末年始恒例の「ギフト・オン・ハート～カレンダープロジェクト」を今年も実施しました。95 の企業から余剰カレンダーを寄付していただき、23 か所の高齢者住宅等にお届けしました。皆さん毎年楽しみに待っていてくださり、今年も喜びの声が聞かれました！（山村）

●生きがいしごとサポートセンター神戸東（ワラビー）・・・重点的に取り組んできた、シニアの有償ボランティアグループ（プラチナワーク）がこども園等の施設で 3 組、トライアルしています。やりがいを持ちながら、自分の都合に合わせて無理なく継続的に仕事ができ、また共通の仕事を通じて仲間ができる良さもあります。ご縁で集まったメンバーは、月 1 回の打合せを重ねるごとに、次第に和やかな雰囲気になり、グループによっては新メンバーの加入で一層活気づいてきました。これからの活躍が楽しみです。（上畑）

●生活支援・介護予防サポーター養成研修／グループリーダー研修・・・ 昨年度に引き続き「神戸市生活支援・介護予防サポーター養成研修」を受託しています。市内 6 ブロック・3 エリアにて同時実施し、受講生は総勢 77 名。講座・体験実習を経て、フォローアップ研修へと続きます。今年度も多くの担い手が生まれそうです！また、サポーター研修の修了生を主な対象としたリーダー研修も同時実施中です。こちらは、人・お金・組織運営・ネットワークの 4 つのテーマで、受講生がリーダーとして実際に抱えている課題を元に、ケース検討を行っています。（飛田）

●居場所支援事業 ・・・WAM から助成を得て実施している「多世代共生型居場所創出・運営支援事業」も 3 年目を迎えます。今年度は居場所サミットや居場所コーディネーター養成講座などの継続事業に加え、新たに「居場所マネジメント実態調査」を実施しました（協力：兵庫県立大学 NPO 研究連携センター）。居場所が継続するための要素や手法について 21 の居場所の事例から分析中です。2 月 6 日に調査報告会を予定していますので、ご興味ある方はお問い合わせください。（飛田）

【地域活動事業部】

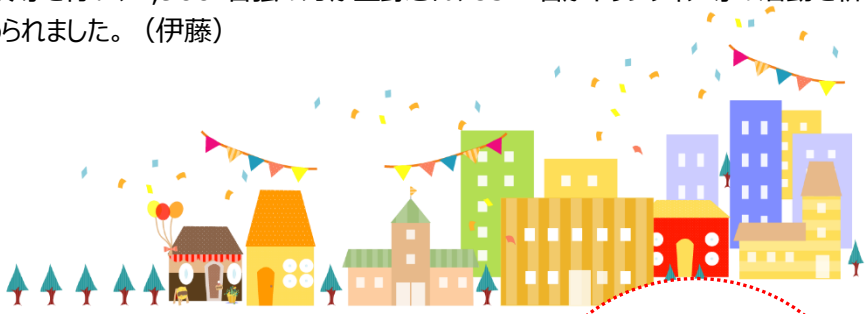
駅前クリーンキャンペーン

●JR 住吉駅前駐輪場 ・・・今年度も 11 月にはトライやる・ウイークで本山南中・魚崎中から駐輪場現場体験の学生 11 名を受け入れサポートしました。又、障がい者団体、駅前商店、地域団体、JR 住吉駅、東部建設事務所、区まちづくり課などと連携した駅前クリーンキャンペーンを実施し、今回は車いすでの参加者もサポートして 22 店舗/団体から 60 名へ参加数が拡大しました。地域連携を継続して駅前の景観維持と見守りの目拠点の活動を進めていきます。（柳井）

●まちづくりスポット神戸 ・・・神戸市の予約図書受取コーナーのスタッフとして男女 6 人が新たに活動を開始。これで、まちスポ神戸の有償ボランティアは合わせて 25 人となり、各々の得意の分野で、お互いに協力し合って楽しく活動しています。（新庄）

予約図書受取コーナースタッフ

●生きがい活動ステーション ・・・2019 年 6 月で開設 5 周年を迎えました。気軽に参加しやすい講座・サロンの開催に力を入れ、これまでに 47,000 名強の方に情報提供・相談等を行い、1,900 名強の方が登録され、857 名がボランティア等の活動を新しく始められました。（伊藤）



会費継続をお願いします 市民活動を共に支えてくださる賛助会員（個人・団体）の方々を募集しております。

【会費】
個人会費：3,000 円／年
団体会費：10,000 円／年

【振込先】
名義：特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸
郵便振替 00950-2-144205

2020 年度も継続頂ける方は、**4 月 1 日以降**にご入金頂けると幸いです！ぜひよろしくお願いします！

認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸（CS 神戸）
〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 5-2-2 ビュータワー住吉館 104
TEL：078-841-0310／FAX：078-841-0312／E-MAIL：office@cskobe.com
発行人：中村順子 編集人：長井明子
2020 年 1 月 25 日発行 通巻 88 号

編集後記 昨年のﾗｸﾞﾋﾞｰﾜｰﾙﾄﾞｶｯﾌﾟでﾗｸﾞﾋﾞｰの競技人口が増えましたが、今年のｵﾘﾝﾋﾟｯｸではどんな競技が盛り上がるか楽しみです。（N）